体験交流とSDGs推進

広島湾ベイエリア・大崎上島

自然と歴史 人情を感じる感動の島

広島県大崎上島町は、瀬戸内海のほぼ中央に位置する面積43・29平方㌔、人口約7129人の離島です。本土とは、竹原、安芸津港とフェリーで海上約30分で結ばれており、その他、大崎下島、大三島、今治市との航路もあります。離島ではあるものの、山陽自動車道、広島空港などにより主要都市とは短時間で結ばれています。瀬戸内海特有の温暖な気候と風光明媚な景観の中、島という限られた土地に生き、造船業・海運業、ミカン、レモン、デコポンなど多種類の柑橘（かんきつ）栽培をはじめとする農業、水産業など、先人たちのたゆまぬ努力によって発展してきました。

2011年から体験型修学旅行の受け入れに向けてスタートし、島の特性、文化を生かしたさまざまなプログラムを用意しています。中でも1番のおすすめプログラムは、200年以上の伝統を誇る「櫂伝馬体験（かいでんま）」です。昔は陸の伝達手法として早馬でしたが、櫂伝馬は海での情報伝令の役目を担った木造船で、14人の漕ぎ手と太鼓1人、船頭1人の16人が乗り込みます（体験人数112人）。それぞれのポジションで役割を担い、独特の掛け声と太鼓で調子を合わせ、心を一つにして櫂の動きを合わせなければならず、チームワークの育成に比類のない、学校教育には極めて有効なプログラムです。また、瀬戸内の穏やかな海を渡り、甘藻場で海の生命について学ぶシーカヤックは、200年以上の伝統を誇る「櫂伝馬体験」です。昔は陸の伝達手法として早馬でしたが、櫂伝馬は海での情報伝令の役目を担った木造船で、14人の漕ぎ手と太鼓1人、船頭1人の16人が乗り込みます（体験人数112人）。それぞれのポジションで役割を担い、独特の掛け声と太鼓で調子を合わせ、心を一つにして櫂の動きを合わせなければならず、チームワークの育成に比類のない、学校教育には極めて有効なプログラムです。また、瀬戸内の穏やかな海を渡り、甘藻場で海の生命について学ぶシーカヤックは、豊かな自然と島独特の人情を感じていただき、島の人々の生き方や命の源の食生産を担う農山漁村の役割を考え、理解する機会となります。

これら「まるごと島体験」が、自らの生活や家庭、生き方を省みる機会となり、生きる力と豊かな心を育む契機になればと考えています。

皆さまに安心して来島いただけるよう新型コロナウイルス感染症防止安全対策やその他、安全、衛生、防火など各種講習会を行い、万全の体制で皆さまをお迎え致しますので、ぜひ大崎上島にお越しください。

■SDGs取り組みプログラム

「主体的・対話的で深い学び」に加え、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であるSDGsに取り組むためのプログラムも用意しています。

●上記櫂伝馬のほか売りのプログラム

①シーカヤック（体験人数120人）

瀬戸内海の無人島周辺を航海します。また、プランクトンや稚魚がすむ「魚のゆりかご」と呼ばれる瀬戸内海でも有数の甘藻場を観察し、環境学習をします。

②農作業体験（体験人数100人）

瀬戸内海特有の温暖な気候で育った柑橘類やブルーベリー、トマト、イチゴなどの栽培過程から農業の厳しさを学び、食について学習します。

■民泊体験

120人の受け入れが可能です。島の人々と生活を共にすることにより、豊かな自然と島独特だけます。

チームビルディングに最適な櫂伝馬体験

農業や食を学ぶ農業体験

フェリーに乗ってお別れ

瀬戸内海で船釣り体験

シーカヤック体験

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興課内）
担当（田村・田井）
営業時間　月～金曜日　9：00～18：00（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-555-8081　FAX 082-222-6622
E-mail:bayarea@hiroshimacci.or.jp
URL https://www.hiroshima-bayarea.net/

徳島県・美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町

ESD・若者のためのSDGs実践現場 〝日本一の田舎〟そらの郷

四国、徳島県の西部「そらの郷」は、四国の中央に位置するにし阿波（美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町）エリアです。「大歩危・祖谷」「吉野川」に代表される自然、歴史文化、伝統や伝承、さらに独自の食文化、伝統芸能に彩られた全国屈指の観光地域であると共に、素朴で温かみのある古き良き暮らしが今もなお息づいています。

そらの郷の民泊家庭は、その多くが山腹の急傾斜地に、張り付くように形成される集落に存在し、特有の文化的背景を形成しています。山畑のコエグロ、石積み、人家などが、一つとなった傾斜地における自然共生の風景こそが「日本一の田舎」や「桃源郷」とも称される、日本の原風景で中央に位置するにし阿波です。

生徒たちは家族の一員として迎えられ、茶摘みやタマネギ、ジャガイモ、雑穀の収穫など、少量多品種の自給的農業を協働します。収穫した旬の野菜や山菜を使って田舎料理を共同調理、家族団らんの食事での心の交流。生物多様性を補完し貧困問題の解決に寄与するサスティナブル農法など、各種SDGsコンテンツの実践体験によって〝日本一〟の厳しさを豊かに変える暮らしを学びます。

そらの郷は「地方創生の成功事例」といわれ、2016年、農林水産省から「食と農の景勝地」「世界農業遺産（GIAHS）」の認定。20年には、第17回オーライ！ニッポン大賞、「内閣総理大臣賞」を受賞しています。またSDGsの実践現場としてESDの地域推進拠点に登録されており、「PBL（課題解決型学習）×STEAMプログラム」を実施しています。各校のテーマに沿って、フィールドワーク・WS、ディスカッションなどを組み立てる、ほんものSDGsアクティブラーニングです。コロナによるパラダイムシフト、そしてVUCAの時代に対し、社会に対し、「日本一の田舎」として、未来を変える若者を育成します。

なお、withコロナの民泊受け入れが功を奏し、民泊HACCP衛生管理を導入するなど、品質のアップデートに成功しました。全ての民泊家庭やインストラクターは、研修の安全衛生講習を受け、危機管理や安全対策に関する万全の体制を整えています。

■民泊阿波おどり＝集落のにぎわいとして、念仏踊・風流踊の阿波おどりが継承されてきました。過酷な農業疲れを吹き飛ばす芸能娯楽。離村式では輪踊りで再開を誓い門出を祝います。農文化継承のSDGs特別プログラムも実施中。

■吉野川ラフティング＝日本三大暴れ川、吉野川は世界クラスのラフティングコース。2017年、日本初の世界選手権を開催。仲間とボートを操り、激流を乗り越え、五感で自然と対峙します。

■吉野川パークゴルフ＝多世代交流型のスポーツを介し、河川環境マインドや心身の健全な成長を促し、社会的コミュニケーション能力を身につけます。

高度な土地利用が成す、エシカル農業ライフや、農業機関（FAO）からの認定。18年、国連食糧

傾斜地に点在する集落「天空の里」で田舎暮らしを体験

世界が認めるウォータースポーツフィールド

SDGs－PBL×STEAMプログラムでは、地元高校生とフィールドワークなどを取り組む

「食と農の景勝地」でSDGsを実践

withコロナの農業体験・農文化学習。エシカル農業の知恵を学ぶ

一般社団法人 そらの郷
営業時間　平日8：30～17：15
※内容のお問い合わせは事務局・担当者までお願いします。
〒778-0005 徳島県三好市池田町シマ995-1
TEL 0883-76-0713　FAX 0883-72-0753
E-mail:sora@cn05.awaikeda.net
URL https://nishi-awa.jp/soranosato/

高知県・四万十・足摺エリア

「主体的・対話で深い学び」でSDGs考える 日本最後の清流を体験

四国の西南部に位置する高知県の四万十・足摺（幡多）地域は、日本最後の清流といわれている「四万十川」を中心に「足摺岬」など山、川、海と多様な自然環境に恵まれた地域です。この豊かな自然環境を生かしたさまざまな体験プログラムを商品化しており、全国に誇れる自然体験型観光の先進地を目指しております。

■SDGs学習プログラム

自然豊かな幡多地域で、「主体的・対話的で深い学び」を通して、持続可能な社会を未来につなぐために、自分たちは主体的に何ができるかを考えます。

■体験プログラム

体験プログラムは、「何にもないのに、なんでもある」をキーワードに豊かな自然が残っている田舎だからこそできる種類を超える体験プログラムを提供しております。

■田舎暮らし体験

特に大都市圏の学校から高い評価を得ているのは、一般の農山漁村家庭の〝ありのままの暮らし〟を体験できる「田舎暮らし体験」です。現在、受け入れ家庭数は80軒を超え、1日最大300人程度の受け入れが可能となっています。山、川、海に恵まれたこの地域では、自然を知り、触れ合うことで自然とともに生きる力を養うことができます。

■カツオのわら焼きタタキづくり体験

高知の食文化の代表でもあり、一番人気です。漁師のおじさん、おばさんがインストラクターとなり、生徒自らがカツオ1本を丸ごとさばいてわらで焼き、タタキを作って食べます。この体験によりカツオ漁の歴史や高知の食文化など市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村）で組織し、四万十・足摺地域でしか体験できない豊かな自然、食、伝統文化、生活や人と人との心のつながりを生徒に感じていただける安全で信頼性の高い体験プログラムを提供できるよう、官民が一体となって取り組んでおります。

を体験できる「田舎暮らし体験」です。現在、受け入れ家庭数は80軒を超え、1日最大300人程度の受け入れが可能となっています。山、川、海に恵まれたこの地域では、自然を知り、触れ合うことで自然とともに生きる力を養うことができます。

■カツオのわら焼きタタキづくり体験

高知の食文化の代表でもあり、一番人気です。漁師のおじさん、おばさんがインストラクターとなり、生徒自らがカツオ1本を丸ごとさばいてわらで焼き、タタキを作って食べます。この体験によりカツオ漁の歴史や高知の食文化など市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村）で組織し、四万十・足摺地域でしか体験できない豊かな自然、食、伝統文化、生活や人と人との心のつながりを生徒に感じていただける安全で信頼性の高い体験プログラムを提供できるよう、官民が一体となって取り組んでおります。

■受け入れ態勢

受け入れ窓口の幡多広域観光協議会は、高知県と幡多6市町村（四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村）で組織し、四万十・足摺地域でしか体験できない豊かな自然、食、伝統文化、生活や人と人との心のつながりを生徒に感じていただける安全で信頼性の高い体験プログラムを提供できるよう、官民が一体となって取り組んでおります。

■SDGs学習プログラム

自然豊かな幡多地域で、「主体的・対話的で深い学び」を通して、持続可能な社会を未来につなぐために、自分たちは主体的に何ができるかを考えます。

■体験プログラム

体験プログラムは、「何にもないのに、なんでもある」をキーワードに豊かな自然が残っている田舎だからこそできる種類を超える体験プログラムを提供しております。

■田舎暮らし体験

特に大都市圏の学校から高い評価を得ているのは、一般の農山漁村家庭の〝ありのままの暮らし〟を体験できる「田舎暮らし体験」です。現在、受け入れ家庭数は80軒を超え、1日最大300人程度の受け入れが可能となっています。山、川、海に恵まれたこの地域では、自然を知り、触れ合うことで自然とともに生きる力を養うことができます。

■カツオのわら焼きタタキづくり体験

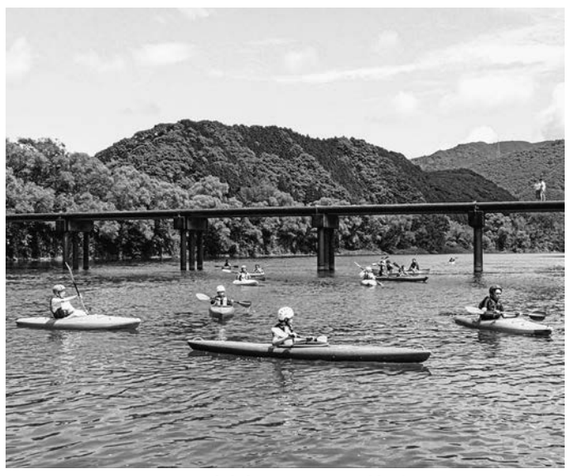
高知の食文化の代表でもあり、一番人気です。漁師のおじさん、おばさんがインストラクターとなり、生徒自らがカツオ1本を丸ごとさばいてわらで焼き、タタキを作って食べます。この体験によりカツオ漁の歴史や高知の食文化など市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村）で組織し、四万十・足摺地域でしか体験できない豊かな自然、食、伝統文化、生活や人と人との心のつながりを生徒に感じていただける安全で信頼性の高い体験プログラムを提供できるよう、官民が一体となって取り組んでおります。

■四万十川カヌー体験

初心者でも安全かつ気軽に体験できます。カヌーから見る自然景観は、日本の原風景とも言えます。最後の清流、四万十川を見ることのできる貴重な体験となります。

■防災学習

地震などの自然災害から身を守り、生きる力を育てるプログラムを用意しています。過去に起こった事例を学ぶのではなく、これから起こり得る近い将来の災害について自分たちがどのような行動ができるかを考え、一人一人の防災意識を高めるためのプログラムとなっております。


四万十川でのカヌー体験

防災学習で砂浜へ

自然と人との共生の形を学ぶSDGs

人気が高い「カツオのわら焼きタタキづくり体験」

一般社団法人　幡多広域観光協議会
〒787-0014 高知県四万十市駅前町15―16
TEL 0880-31-0233　FAX 0880-31-0660
E-mail:syuryo@hata-koiki.com
URL https://www.hata-kochi.jp/

長崎県・五島市

「世界遺産の国境離島」SDGsを学ぶフィールド

九州の西の端、長崎から西に約100㌔に位置し、11の有人島、52の無人島で構成される五島市。

古くは遣唐使の寄港地、海外貿易の拠点として栄え、またカトリック信仰の地として数多くの教会が点在し、さらに倭寇や空海の伝説が残り、城郭や武家屋敷など歴史文化遺産も豊富であることが五島市の魅力です。

■五島市体験交流協議会

五島市体験交流協議会では、豊かな自然と多様な農林漁業の営み、歴史や文化を生かした体験交流型教育旅行の受け入れを行っています。

「五島感動しま旅！」と銘打った一連のプログラムは、地域に暮らす人の生業や生活を一緒に体験したり、地域の自然や歴史をともに楽しんだり、といったそこでしか味わえない「ほんもの体験」にこだわっています。

■SDGsへの取り組み

本協議会では、SDGsの各目標について、深く考えるきっかけとなるような体験プログラム構築に取り組んでいます。

例えば、崎山地区の「浮体式洋上風力発電と船釣り」では、海岸から約5㌔の洋上に設置された浮体式洋上風力発電施設である風車を、実際に漁船に乗って間近で見学します。海上約100㍍にそびえるその姿は、見るものを圧倒します。風車見学の後は、周辺海域で船釣りを行います。風車をつなぐ係留チェーンは漁礁の役目も果たし、生息する魚種が増えていることも確認されています。残念ながら、風車のすぐ近くで釣りを行うことはできませんが、ぜひ釣りの聖地、五島での船釣りを体験してください。

また、風車の管理の一部を担当している潜水会社の講話は、地元住民と共同作業など、環境に配慮した活動を知る貴重な経験となります。このように、楽しみながら、「⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「⑭海の豊かさを守ろう」について関連付けて考えるきっかけを提供できるプログラムとなっています。

もう一例として、岐宿地区の「潜伏キリシタンの歩み　教会見学と巡礼道トレッキング」を紹介します。カトリック信仰の地として数多くの教会が点在する五島市の特性を生かしたトレッキングコースで、スタートとゴールは、カトリック教会となっています。約1時間半のコースは、舗装のされていない自然歩道で、適度なアップダウンがあり、ゴール近くでは、パッと視界が開け、水ノ浦の美しい海に疲れも吹き飛びます。

このように五島の自然を味わえる気持ちの良いコースではありますが、実は、キリシタン弾圧当時に入牢させられたキリスト教徒が別の牢へ移動するために、縄で体を縛られながら歩かされた道でした。当時に思いを寄せ、現在でも年に1回、信者の方が巡礼道として歩いています。スタートの説明でこの話を聞き、追体験するつもりで歩くと、全く違う感想を持つようになります。「⑩人や国の不平等をなくそう」「⑯平和と公正をすべての人に」といった、大きくて捉えがたい目標も、五島の歴史と、いまも息づく生活を通して、学んでいただく機会になると期待しています。

今後もこういった五島市ならではのプログラムを構築し、五島市でしか学ぶことのできない体験プログラムを提供することで、未来を創る子どもたちに深い学びを感じていただきたいです。

市内全域で最大100人までの受け入れが可能です。

「釣りの聖地」で行う船釣り体験（市内全地区）

トレッキングコースのゴール「水ノ浦教会」

国内初の浮体式風力発電施設「はえんかぜ」（崎山漁港沖）

五島市体験交流協議会
株式会社 JSH
（担当：松本 俊也）
つばきねこ
〒853-0005 長崎県五島市末広町3-4
TEL 0959-76-3600　FAX 0959-88-9346
URL https://www.goto-shimatabi.com/
Email:jsh-travel@jsh-japan.jp